

日野市 定例記者会見

令和3年11月17日 午後1時30分
日野市役所 4階 庁議室





令和3年第4回日野市議会定例会 に提出する補正予算(案)について

問い合わせ先 財政課
課長 宮本 ☎042-514-8076



令和3年第4回日野市議会定例会提出補正予算(案)

1 各会計の補正状況 (1) 補正予算額

(単位:千円)

会計区分	補正前	今回補正	補正後
一般会計	74,726,814	314,113	75,039,201
国民健康保険特別会計	15,754,050	1,400	15,755,450
土地区画整理事業特別会計	2,292,735	10,110	2,302,845
介護保険特別会計	15,466,744	2,183	15,468,927
後期高齢者医療特別会計	4,675,685	0	4,675,685
市立病院事業会計	10,124,849	5,763	10,130,612
下水道事業会計	6,704,233	0	6,704,233
合計	129,745,110	333,569	130,076,953



1 各会計の補正状況 (2) 主な補正内容

会計区分	主な内容
一般会計	<p>①新型コロナウイルス感染症対策事業</p> <ul style="list-style-type: none">・ 消耗品など必要な物品の購入・ 各施設におけるコロナ対応修繕・ GIGAスクール構想の充実 ほか <p>②緊急性・必要性の高い事業</p> <ul style="list-style-type: none">・ 障害児通所給付費、障害者自立支援給付費の不足見込分の増額・ 常備消防委託料の金額確定に伴う差額分の補填・ ナラ枯れ被害への対応・ 35人学級、児童数増加に伴う学級数増への準備対応 ほか <p>③事業完了に伴う契約差金などの減額</p>
国民健康保険特別会計	<ul style="list-style-type: none">・ 傷病手当金の増額
土地区画整理事業特別会計	<ul style="list-style-type: none">・ 人事異動に伴う人件費の増額
介護保険特別会計	<ul style="list-style-type: none">・ 徘徊高齢者探索等サービスの利用者増対応 ほか
市立病院事業会計	<ul style="list-style-type: none">・ コロナ対策用消耗品・備品の購入



令和3年第4回日野市議会定例会提出補正予算(案)

2 一般会計補正内容 (1) 歳入予算

(単位:千円)

予算科目	主な内容	今回補正
国庫支出金	①障害児通所給付費 ②障害者自立支援給付費 ほか	97,146
都支出金	①生活応援事業事業費 ②障害児通所給付費 ほか	190,014
寄附金	①一般寄附金(ふるさと納税) ②指定寄附金(福祉)	5,377
繰入金	①新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金積立基金繰入金 ②財政調整基金繰入金 ほか	21,481
諸収入	①栄光多摩平の森保育園土地貸付料 ほか	95
合計		314,113



令和3年第4回日野市議会定例会提出補正予算(案)

2 一般会計補正内容 (2) 歳出予算

(単位:千円)

予算科目		今回補正
総務費ほか	窓口におけるキャッシュレス決済対応型セミセルフレジの導入	13,722
民生費	障害者自立支援給付費の増額	61,822
	障害児通所給付費の増額	119,753
	市立保育園ICT化	3,749
衛生費	自宅療養者に対する訪問診療体制の構築	9,920
土木費	多摩平第8公園のコロナ対策整備	19,993
	通学路における安全確保対応	7,645
	ナラ枯れ被害への対応	30,062
商工費	キャッシュレス決済経済支援事業の実績額に応じた減額	▲162,742
消防費	常備消防委託料の増額	63,961
教育費	小中学校学習用端末のさらなる活用	35,612
	35人学級、児童数増加などへの対応	22,936
その他 (新型コロナ対策消耗品の購入、契約差金などの減額 ほか)		87,680
合計		314,113



2 一般会計補正内容 (2) 歳出予算 手数料・使用料などにキャッシュレス決済を導入

問い合わせ先	市民窓口課	課長 小林	☎042-514-8206
	七生支所	支所長 近藤	☎042-591-7712
	文化スポーツ課	課長 北島	☎042-514-8465
	発達・教育支援課	課長 萩原	☎042-589-8877
	ふるさと文化財課	課長 金野	☎042-583-5100

→ 使用できる窓口

- 住民票などの証明発行窓口、屋内体育施設、発達・教育支援センター「エール」および新選組のふるさと歴史館において、現金を用いない支払処理が可能

→ 導入予定の決済方法

- クレジットカード、電子マネー、QRコード決済を予定

→ 予算額

	総額	13,722千円
● 需用費（消耗品費ほか）		528千円
● 役務費（インターネット回線利用料）		351千円
● 委託料（機器導入、設定、保守）	12,128千円	
● 備品購入費（レジ用カウンター）		715千円



2 一般会計補正内容 (2) 歳出予算 保育園ICT化事業

問い合わせ先 保育課
課長 綿貫 ☎042-514-8637

→ 市立保育園のICT環境構築

- ICTを導入するための無線アクセスポイント設置作業
- 今回の補正で環境構築を行い、令和4年度予算でシステム導入を予定
- 対象は、市立保育園10園中8園(既に導入済のおおくぼ保育園、民間事業者に運営移行予定のたまだいら保育園を除く)
- コロナ対策として、メール配信などによる、保護者の送迎時の在園時間短縮なども目的

→ 予算額

	総額	3,749千円
● 機器費	1式	1,326千円
● 材料及び通線設置作業費	1式	1,516千円
● 共通仮設費	1式	62千円
● 現場管理費	1式	583千円
● 一般管理費	1式	262千円

財源として「新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金積立基金」を活用



2 一般会計補正内容 (2) 歳出予算 ナラ枯れ被害枯損木(こそんぼく)処理業務

問い合わせ先 緑と清流課
課長 小俣 ☎042-514-8307

→ 倒木などを未然に防ぐことで 市民の安全・安心な公園利用や暮らしを確保

- ナラ枯れとは、コナラ・ミズナラなどが集団的に枯損する樹木の伝染病
- 近年、全国的に被害が拡大しており、日野市においても令和2年8月頃から兆候が見受けられる
- 令和3年8月には、市内各所で急激にナラ枯れ被害が確認されたため、市内全域の公園・緑地のナラ枯れ調査を実施

計49カ所の公園・緑地で約200本のナラ枯れ被害を確認

→ 予算額	総額	30,062千円
● 純作業費		16,665千円
● 現場管理費		6,284千円
● 一般管理費など		4,380千円
● 消費税および地方消費税		2,733千円

Topics

1.



コロナ禍の今後を見据えた 市の対応

問い合わせ先

(高齢者の実態調査) **高齢福祉課** 参事 志村 ☎042-514-8495
(往診専用車両の提供) **在宅療養支援課** 課長 旗野 ☎042-514-8189



新型コロナウイルスの影響を捉え市の対応に展開

→ コロナ禍における75歳以上高齢者の実態調査

- 単身世帯、高齢者のみ世帯への訪問による調査を実施
- 高齢者の実態とニーズから、今後の高齢者施策を検討する

→ コロナ禍における訪問診療体制整備

- 第6波に備え、日野市医師会の全面的な協力で整備
- 感染症専用車を医師会に配備し、訪問看護とチームを組んで対応
- 自宅療養者の診療をさらに確実かつ的確な治療につなげ、重症化を防ぐ



コロナ禍における75歳以上高齢者の実態調査

アフターコロナを見据え、コロナ禍の2年間、市が状況を確認できていないフレイルリスクの高い75歳以上の「一人暮らし」、「高齢者のみ世帯」の実態を調査します。

→対象

コロナ禍の令和2年、3年の2年間 下記の状態に該当する方

- 介護サービスを利用していない介護認定者 … 970人
- 65歳以上の高齢者へ奇数年齢で実施している高齢者実態調査「はつらつ・あんしん調査」未回答者 … 1,626人
- 新型コロナウイルスワクチン未接種者

→実施期間

- 令和4年1月～3月



コロナ禍における75歳以上高齢者の実態調査

→ 調査方法

- 民生委員の方などによる「ふれあい見守り推進員」や、ささえる・つながるプロジェクト補助金交付団体の職員が訪問し、聞き取り調査

→ 取り組みの結果

- コロナ禍の中、介護サービスを控えていた高齢者の心身機能の評価を実施
- 孤立、体方面・認知面の低下がみられる高齢者を、介護保険、地域包括支援センターなどへの支援へつなぐ
- 単身世帯、高齢者のみ世帯が、コロナ禍の中どのような問題を抱えていたかを把握し、高齢者への今後の支援策を考える



コロナ禍における訪問診療体制の構築

→ 日野市医師会を拠点とした

感染者往診体制の構築・運営を支援

- 公益社団法人日野市医師会の全面協力により実施
- 感染者往診専用車両を医師会に配備
- 往診を必要とする自宅療養者に対し、医師会から医師、市内訪問看護ステーションから看護師がチームとなって往診を行う

→ かかりつけ医による電話診療と併せ

切れ目の無い体制で市民を守る

- かかりつけ医による電話診療体制との連携
- 保健所、かかりつけ医からの連絡を受け、チームを組んで往診を実施

Topics

2.



ひきこもり等実態調査結果および 子どもの貧困対策のための調査・ 分析結果がまとまりました

問い合わせ先 セーフティネットコールセンター
センター長 旗野 ☎042-514-8542



ひきこもり等実態調査



→ 目的

ひきこもり状態への適切な支援を検討するための基礎データを得ることを目的に調査を実施

→ 概要

- 調査対象：当事者・家族など、民生・児童委員、市職員、関係機関、相談機関
- 調査期間：令和2年12月～令和3年4月
- 結果：調査で把握できたひきこもりの方は延べ561名

→ 調査から見えてきた主なもの

- 当事者の年齢は40～49歳が20%を占める
- 同居人の有無は同居人ありが76%
- ひきこもりの期間は1～5年が32%を占め、6～21年以上も40%
- きっかけは精神疾患などの疾病が多い
- 問題点として、ひきこもりの長期化などによる親族の高齢化（8050問題）があり、孤立・孤独の問題を家族だけで抱え込まず、家以外の居場所につなげることが必要



子どもの貧困対策 子どもの生活実態調査

→ 目的

「日野市子どもの貧困対策に関する基本方針」(平成29年度～令和3年度)の見直しをするための資料として、平成28年度に東京都により実施された「東京都子供の生活実態調査」をベースに子どもと保護者の生活の実態を調査

→ 概要

- 調査対象：市内在住小学5年生、中学2年生、16～17歳（高校2年生相当）の児童・生徒とその保護者
- 調査期間：令和3年2月18日～3月1日

→ 結果から見た主なもの

- 平成28年データと比較して生活困難層の割合は小・中学生はやや低下、16～17歳は横ばい
- 父親の就労状況では正社員率が減少
- 欲しいが持っていない必要物品の状況では、インターネットPCが小・中学生で増加、オンライン授業など学校や塾での必要性が高い
- 生活困難層は母子家庭の割合が大きい

子どもの貧困対策 子どもの貧困率の推計

→ 目的

子どもの貧困対策を総合的に進めるための「日野市子どもの貧困対策に関する基本方針」(平成29年度～令和3年度)の見直しをするため、日野市の子どもを取り巻く現状を分析

→ 推計概要

- 日野市の令和2年の税務・社会保障データを用いて子どもの相対的貧困率を推計

→ 結果から見えた主なもの

- 令和2年の日野市の17歳以下の子どもの相対的貧困率は6.3%、前回平成27年(7.4%)より若干の減少傾向が見られる
- 新型コロナウイルス感染拡大による景気悪化の影響は、令和2年時点では確認できない



Topics

3.



「まちと空き家の学校」が
11月20日スタート！

問い合わせ先 都市計画課

課長 川鍋 ☎042-514-8354



3.「まちと空き家の学校」が11月20日スタート！

目的

- 空き家を地域の資源として活用できる人材育成を推進
- 学校の卒業生が空き家活用に取り組み、空き家での地域活動を増進
- 市民が日常の中で、空き家に関心を持てる環境を醸成



空き家活用イメージ(事例: 杉の子ひろば_程久保8丁目)
出典: 空き家まちづくりガイドブック イラスト: kaku-kaku lab. 鹿毛 泰成



3. 「まちと空き家の学校」が11月20日スタート！

これまでの取り組み

- 平成28年度から空き家活用の支援を積極的に実施
→活用に至った件数 13件
- 自治会などが行う空き家に係る地域活動へ専門家派遣を実施
→6地域へ派遣 延べ10回派遣



空き家活用の事例

名称 : 明星地区つながりの家アムール

場所 : 日野市程久保2-6-14

活用者: 明星地区つながりの家アムール

主な活動:

- ・高齢者サロンの場
- ・ひの筋体操や包括あさかわセミナー
- ・明星大生などとの共同活動 など

活用の時期:

2018年4月頃から



名称 : 杉の子ひろば

場所 : 日野市程久保8-32-7

活用者: 武蔵野台自治会防災会

主な活動:

- ・花壇の維持、畑いもほり会など
- ・子ども遊ぼう会
- ・防災活動 (炊き出し訓練も)

活用の時期:

2017年4月頃から





3. 「まちと空き家の学校」が11月20日スタート！

見えてきた課題

- 空き家活用に関する人材をいかに増やすか
- ノウハウをどのように共有するか
- 集中的に学べる場と活動者同士の情報共有する場が必要



「まちと空き家の学校」開講へ

→ まちと空き家の学校の公開シンポジウムを開催



令和3年9月11日(土) 13:00~16:00 日野市民の森ふれあいホール



3. 「まちと空き家の学校」が11月20日スタート！

「まちと空き家の学校」講座の概要



→ 講座スケジュールとプログラム

まちと空き家の良い関係を、講座と実習を通して考える全6回
(4日間)の無料講座

講座のスケジュール		講座のプログラム	
11月20日(土)	午前	講義 1	活動拠点の作り方を学ぼう
	午後	実習 1	空き家活用の現場見学
12月11日(土)	午前	講義 2	小さな場づくりの企画
1月22日(土)	午後	実習 2	現場でお試し利用にトライ
2月 5日(土)	午前	講義 3	活用の企画提案づくり
	午後	実習 3	活用の企画提案の発表

- 会場：市民の森ふれあいホール内会議室(実習一部は、実際の空き家活用現場)
- 運営事務局：(株)エンパブリック



3. 「まちと空き家の学校」が11月20日スタート！

「まちと空き家の学校」のこれから

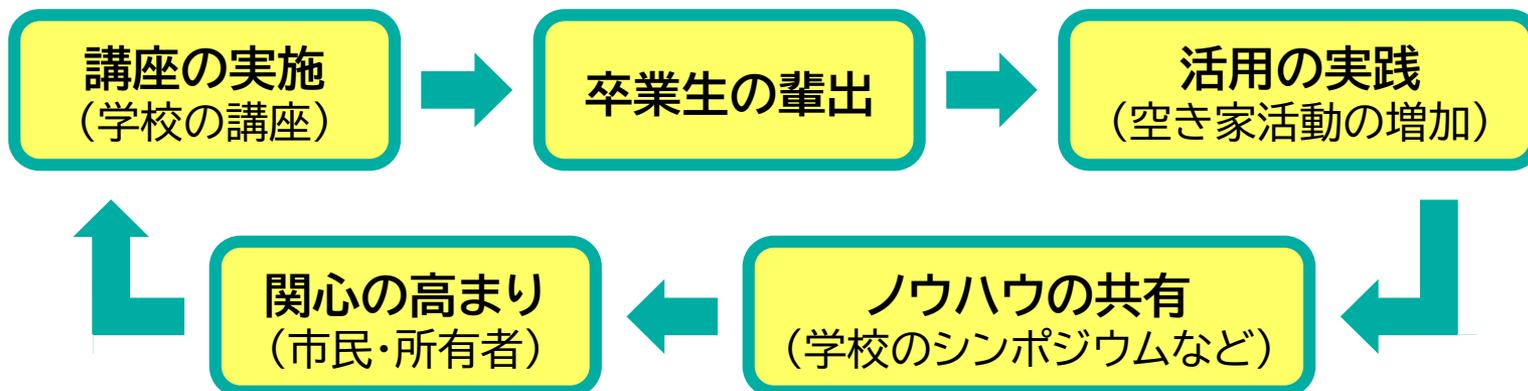


→ 受講の対象者

- 対象者 : 空き家活用や地域の場づくりに関心のある方など
- 募集期間 : 9月1日～10月22日
- 応募状況 : 40名 → 選考のうえ、26名の受講生を決定

→ 「まちと空き家の学校」の将来像

- 卒業生が空き家活用の実践を重ね、市民の関心が高まっていく好循環を創出



日野市 定例記者会見

